



2016年11月 3日発行

2016年11月号(通算194号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2016～2017主題】

国際会長 Joan Wilson
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao
 東日本区理事 利根川 恵子
 あずさ部長 浅羽 俊一郎
 東京武蔵野多摩会長 山口 直樹

「Our Future begins Today」
 「Respect Y's Movement」
 「For the Future, Act Today!」
 「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ!」
 「一歩一歩前に進もう。Yと共に!」

【クラブ役員】

会長 山口直樹
 副会長 板村哲也
 副会長 伊佐節子
 会計 宮内友弥
 書記 渡辺大輔

2016年
今月の聖句

あなたの御言葉（みことば）は、わたしの道の光、わたしの歩みを照らす灯（ともしび）。
詩編119篇105節

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

11月例会プログラム

強調月間：ワイズ理解、ファミリーファースト
 日時：11月 9日(水) 19:00～21:00
 場所：東京YMCA西東京コミュニティセンター
 司会：山本 受付：宮内、渡辺
 ドライバー：野尻 聖書朗読：伊佐

- * 開会点鐘（会長）
- * ワイズソング
- * 聖句朗読（伊佐）
- * ゲスト・ビジター紹介（会長）
- * 夕食
- * ワイズの在り方を考える（議長：板村）
- * ハッピー・バースデー
- * YMCA報告
- * にこにこ
- * 閉会点鐘（会長）

* ハッピーバースデー
山本さん

10月例会報告

在籍者	13名
出席者	10名
キーキャップ	2名
出席率	92%
ゲスト	16名
ビジター	5名
ネット・コメント	1名
にこにこ	-

私と家のワンコ(Jr)

大輪 匡史

毎日朝早く家の近くの大きな公園にJrと散歩に行くわたしは、気持ちがあきあきしています。Jrも私を理解しているらしく、楽しそうな足取りです。さあ～今日はどんな人に会えて「おはよう」と挨拶するのか。

Jrが、毎日自宅前でお掃除する体調がすぐれない年配の方に尻尾を振って近寄ると、その方は「おまえ元気でいいなあ～」と一言、頭をなでてくれます。

坂を下り公園で2～3の犬友達と挨拶していると、足早に来る年配の女性に「Jrに会うのが1日で一番たのしみなのよ～」とまた鼻先や頭をなでてもらいますと、Jrも女性が大好きで、嬉しそうです。何年か前に旦那様が亡くなられて、お子様は独立し、お一人住まいでお話しをする機会がない様子で、Jrとの朝のふれあいを楽しみにして下さっています。

さあそろそろ帰ろうかと歩いていますと、たまに会う下半身不随のワンちゃんをJrがみつけました。後ろ足が地に付けない為に、ご主人がタオルで引き上げながら少しずつ歩いています。Jrが鼻を近づけて、しばらく無言の会話です。その目には人には理解できない、心配する優しさがあります。

「頑張れ～」と、頭をなでて別れました。さあそろそろ帰るか、君の朝のお仕事はおわりだよ、と帰路につきます。生を受けたものは、動物も、人も、皆、寂しさ、孤独、辛さ、痛み、を抱えて生かされています。

その時、Jrはそっと寄り添い、尻尾を振ってくれます。その優しさについていつも感謝し感動しています。

2016年10月例会報告

日時 10月12日18時45分～
 会場 東京YMCA西東京コミュニティーセンター
 司会：1部：大輪 2部：山口
 乾杯：清水 受付：板村 ドライバー：野尻
 メンバー：10名、メネット：1名、
 ビジター：5名（東京八王子クラブ）、
 西東京センターリーダー：13名、スタッフ：3名

「リーダー懇親会」

毎年行っている東京八王子クラブと共催のリーダー懇親会を今年も10月12日に実施した。初めに3名のリーダーからの活動報告。

はじめに、リーダー歴1～2年のリーダー対象のユースボランティアリーダーズフォーラム（山中湖センターで実施）に参加したロベリー（高橋一浩君）の報告があった。「今、リーダーに求められるもの」は何かとの問いに始まる研修であり、リーダーとしてメンバーと関わることは、お互いに様々な刺激を受け、自分とは何なのかを考えることにつながると感じたとのこと。報告を通して彼がメンバーと共に成長している姿を真に感じる事ができた。

つづいてリーダー歴3～4年の経験者対象の全国YMCAリーダー研修会（小豆島と陸続きの余島キャンプ場で実施）に参加したえーちゃん（中村健勝君）の報告。合宿研修のまとめとして、最後に今子供たちに必要と思えるキャンプを企画するプログラムがあった。キャンプの企画を通して、現代の子供のかかえている問題点を考えていくことは、最後は社会問題へつながっており、社会への大きな貢献に結び付いていくことになると感じた、との感想であった。

YMCAでリーダーをしていることの意味を考え、すごく深めている姿を感じた。

最後は夏のキャンプの参加報告をごましお（細谷友佳里さん）から夏の二つのキャンプ報告をもらった。青空キャンプでは、人のかかわりが苦手なメンバーとマンツーマンでかかわり、子供たちの状態に合わせたゆっくりとした流れの中での4日間。そこでの本当にゆっくりとした関係の変化と、その中でみられるメンバーの変化を肌で感じた経験（これが人を思いやる原点だと思う）を伝えてもらった。

続いて行った道志キャンプ。5～6年生の女の子6名

とのかかわりでまた違った感激。子供たちの心と向き合う中でうまくコミュニケーションが取れないもどかしさや、メンバーたちが変化して心を開いていく過程を伝えてもらった。話しながら、出てきた彼女の涙に真剣に子供たちと向き合い、またそれが自分への問いかけになっている凄さを感じさせられた。

毎回であるが、今の若い人たちが真剣に相手（メンバー）に向かい合い、相手のことを思い、そのことを通して自分の生き方まで考える機会を得ている姿を見て、YMCA活動の社会的な価値を重く感じる。

第二部は4グループに分かれての懇親会。1グループ約8名で食べ物、飲み物を取りながらリラックスした60分間。それぞれのグループで大変盛り上がりがあった。様々な話の中で、ワイズ、リーダー、スタッフの様々な姿を垣間見れた時間であった。

ワイズ、YMCAそして今の社会に対しての様々な思いを述べ、いろいろと話す中で今私たちが必要とされていること、考えるべきこと、そしてすべきこと、できることなどが見つかればと思ったが、ちょっとそこまではたどり着けなかった様子。ただ、西東京センターに集う者たちが、その場でのかかわりを通してお互いにスタート台に立つことはできたのではないかと考えている。次回はまず、もっと多くの人に参加してもらえるよう工夫する必要を感じた。ともかく、楽しい時間であった。

（記録：山口 直樹）

【強調月間コーナー】

11月 ワイズ理解、ファミリーファースト

ワイズ理解

「ワイズって何だろう？」当クラブが11月例会でみんなで話し合う「ワイズの在り方を考える（発展に向けて）」にて、現状を分析するとともに現在の枠組みにとられない議論を通じてワイズの将来に繋がる答えが得られることを期待します。

ファミリーファースト

東西日本区では大阪に日本で最初のワイズメンズクラブがチャーターされた11月10日を記念して「ワイズデイ」としています。このワイズデイを覚えて、TOF（Time of Fast）とは別に、家庭でのおかずを一皿節約して献金しようという日本独自の事業です。（目標は1家族500円。）



神戸学園都市クラブにお邪魔しました！

石丸 由理

9月15日、神戸学園都市クラブの例会にお邪魔しました。例会は西神戸YMCAで行われていて、地下鉄の学園都市駅から徒歩5分位の所の、プールもある大きな施設でした。

9月の例会の卓話は、滋賀蒲生野クラブの井之上温代ワイズ、(滋賀蒲生野クラブ：元びわこ部部長)の「二人で歩く北極圏」。ご夫婦で毎夏アタックされた北極圏でのトレッキングのお話。ご主人が50年前に見た映画、「太陽のかけら」がきっかけだったそうで、長年の夢をかなえられた北欧スエーデンのラップランド「王様の散歩道」のクングスレーデン110Km、翌年チャレンジされたパジェラントレーデン144kmのトレッキングの数週間の旅のお話でした。

北極圏とは、北緯66度33分以上の地域を指すとのこと。真夏は、太陽が沈まない白夜を含めて、長い長い日の中での毎日の旅。見たこともないような形の山々、横を流れている美しい川、可愛い高山植物・・・と、次々と広がる壮大な自然の映像に、思わず私も静かな自然の中に入り込んだような気がして、本当に圧倒されました。

二次会では、初めて聞くスポーツ、ローンボウルズ(lawn bowls)でご活躍なさっている合田さんに、競技のお話を教えて頂きました。数少ないローンボウルズの専用競技施設が、私たちのクラブの近くの立川昭和記念公園の中にもあるとのこと、何だかとても身近に感じました。藤井会長、メンバーの皆様、メネットの皆様、有難うございました！



左から、中村、藤井、石丸、杉本、井之上(敬称略)

第14回富士山例会

渡辺 大輔

9月24～25日、富士山例会(富士五湖クラブ&東京サンライズクラブ合同例会)に今年も参加しました。

前日から板村さん、ユース二人(藤永、ピエール)と、宮内さんの別邸にて決起集会を開催し、来る富士登山に備えました。ところが、翌朝になってみるとあいにくの天候で、登り始める直前一瞬小雨になったものの登山中は終始雨が降っていました。

馬返しのスタート地点では13名いたメンバーも、五合目佐藤小屋に着いた時には10名になっているくらい酷い雨で、佐藤小屋到着直前には霞の様な、横殴りの雨

が降っていました。(途中1名、グループからは遅れましたがあとから自力で登って来られたそうです。)

五合目で山口会長とも合流し日本一高地で行われてると言われている富士山例会が始まりました。山のプロたちは、この雲なら17時頃に雨は上がるだろうと言っていました。見事17時半頃には雨も上がり虹が出ていました。



部長の公式訪問、マツタケ鑑賞会、ハッピーバースデー、ミニ卓話「マラソンに魅せられて20年」もあり、西日本区からのゲストもありと盛りだくさんの例会でした。例会後、恒例の大BBQ大会は深夜まで続けました。

翌日、起きられた人は朝4:45から御来光を拝み、少し登ったそうです。朝食後はお楽しみ自然散策ということで、同じく五合目の奥庭の散策へ。あまりに景色がいいので天狗が遊んだ庭という由来から別名「天狗の庭」とも言われているそうです。散策後は、麓の温泉で癒され大充実の1泊2日でした。

西東京フェスティバル

麻生 由美子

2016年10月2日(日)西東京フェスティバルのブースに初めて参加する。西東京コミュニティセンターに関わり、遊びに来た友達やファミリー達は、高尾の森わくわくビレッジの受付でパスポートを受け取り、8つの国に見立てたブースを回り遊ぶ。私たちワイズのブースはアメリカ、室内をアメリカ風に飾りつける。そしてアメリカといえば、ポップコーン!味付けは参加者それぞれトッピング!塩、キャラメル、チーズ、チリペッパーなど、シャカシャカ袋を振り回す。そして笑顔いっぱい口で頬張る!美味しい、楽しい素敵な時間を皆で共有する!最後の締めは全員でキャンプファイヤータイム!火を囲みながら、歌い、踊り、笑う楽しい時間を過ごす。そしてまたね!と別れの時間になる!ファミリー、リーダー、スタッフ、ワイズ、約100人で「たんけん、はっけん、にしとうきょう」を満喫した1日でした。

☆ワイズ参加者、東京多摩みなみ3名、東京八王子1名、東京武蔵野多摩5名



§その他、会員の委員会等出席情報

- 10月
- 1日：ユース事業委員会(渡辺)
 - 2日：西東京センターファミリーフェスティバル(麻生、板村、大輪、宮内、渡辺)
 - 3日：東京YMCAチャリティーラン評価会(宮内)
 - 14日：文献・組織検討委員会(宮内)
 - 19日：西東京センターファミリークリスマス準備会(麻生、山口)
 - 21日：西東京センターサポートチーム委員会(宮内、山口)
 - 22日：あずさ部会(伊佐、宮内、山口)
 - 29日：次期部長・事業主任研修会(宮内、山口)

<西東京YMCA便り>

出沼一弥

▼10月の西東京センタープログラム報告

10/2	西東京フェスティバル (高尾の森わくわくビレッジ)	70名参加
10/8-10	三菱商事・東京YMCA「秋の山中湖キャンプ(発達障がい児キャンプ)」	36名参加
10/16	「あおぞら・つばさの会」10月例会 航空公園	16名参加
10/22-23	「にこにこ」1泊会 (高尾の森わくわくビレッジ)	12名参加
	「ロビンソン」1泊会 (高尾の森わくわくビレッジ)	15名参加
	「TeenS」1泊会 (高尾の森わくわくビレッジ)	2名参加
10/29-30	「シャベルズ・いずみの会」1泊会 (YMCA東山荘・箱根)	16名参加 (予定)
10/30	「Smile」10月例会 (小金井公園)	11名参加 (予定)

▼11月の主な予定

西東京センター

11/3	ぺたぺたの会 会員の集い
11/6	軽度発達障がい児 野外活動「Smile」 11月例会 (小学生プログラム)
11/12-13	知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」1泊会
11/13	幼児野外活動「にこにこ」11月例会 小学生野外活動「ロビンソン」11月例会
11/20	知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いずみの会」11月例会
11/23	中高生野外活動「TeenS」11月例会
11/30	軽度発達障がい児 野外活動「Smile」 11月例会 (中高生プログラム)

東京YMCA

11/26	ソシアスフォーラム (会員協議会)
-------	-------------------

▼活動紹介

西東京コミュニティーセンターで行っている「定例プログラム」について紹介をしていきます。今号は野外活動「Smile (スマイル)」についてです。

*野外活動…月に1回程度、近郊の野山や河原など自然の中で、年齢に応じたさまざまな体験をします。楽しく遊ぶだけでなく、仲間と協力したり交流を深めたりと、豊かな経験を通して、子どもたちの成長を願っています。

「Smile (スマイル)」

LD、ADHD、自閉症スペクトラム症やその周辺の課題のある小学生から高校生を対象に年間9回行っている野外プログラムで、現在27名のメンバーが在籍しています。

一人ひとりが「かけがえのない大切な存在」として「あるがままの自分」が受け入れられること、自分を認めもらうためにも相手を受け入れること、のびのびと楽しめることを大事に考えています。まずは活動に参加したい気持ちが高まるように、「信頼関係づくり」「安心して過ごせる居場所づくり」に力を注いでいます。そして、たくさんの発見や仲間との出会いにあふれる活動になるよう努めています。

Smileに携わるリーダーは、将来教師や特別支援教育に進んだりするものだけではありません。時にメンバーとの関わりで難しさを感じたりどうにもできない自分の不甲斐なさを感じたりもしますが、そのまっすぐで真摯な思いや態度はメンバーに伝わっていきます。自分のことを家族以上に思ってもらえるリーダー (人)との出会いは、これから生きていく上で「心の支え」になっていくのではないのでしょうか？そのことを願いながら、信じながら取り組んでいます。

スマイルは、英語の「Smile (スマイル)」の綴りで、「すみれ」と読みます。活動に集うメンバーの笑顔が咲き乱れることも願っている活動です。

11～12月、その他の予定

- | | |
|--|---|
| 11月 | 12月 |
| <ul style="list-style-type: none"> 5日 (土) 東日本区役員会 (YMCA同盟) 9日 (水) 第一例会(ワイクの在り方を考える) 30日 (水) トンチャクの練習(石丸邸: 18:30~) ※変則的になっていますのでご注意ください。 | <ul style="list-style-type: none"> 4日 (日) ファミリークリスマス (第一例会: 医療福祉専門学校13:30~) 17日 (土) 忘年会 (日本橋: 17:00~) 21日 (水) 臨時第二例会 |
| | 1月 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 7日 (土) 在京ワイク新年会 (山手センター: 12:30~15:30) |